

WYSIWYG HTMLエディタ搭載スマホ完全対応版 contents playerの機能と改訂マニュアル

正規版ver3.0

- 今後も機能拡張や修正により、内容が変更される場合があります。(2017/4/10現在)
- WYSIWYG HTMLエディタの利用にはWYSIWYGパッチ適応済みの必要があります。



画像部位

- スマートフォン時代の画像サイズ指定はPX(ピクセル)指定から%(等分)へ
ページを構成するBOXと画像サイズの基本/画像の登録方法

2



本文部位

- 文字サイズ・太さ・色。CP文法を施す事で、表現が豊かになります。

7

見出部位

- SEO的な重要度も高い見出し。装飾を切り替えてサイト表現を強化。

9



表組部位

- デザイン化された表組みを効果的に利用してサイトを見やすく。

10

BOXの背景機能①(汎用BOX)/②(特殊BOX)

12

[新機能] WYSIWYG HTML エディタ機能/基本知識

[本文]部用ツールバーの解説①～⑥

14

16

[画像]部用ツールバーの解説/拡張CP文法①～⑥

22

[タグ]部用ツールバーの解説①～④

29

[上級機能]タグによる特殊機能/コンテンツライダー

[新機能]テンプレートを編集する機能

株式会社onelife[ワンライフ]

〒503-0807 岐阜県大垣市今宿6-52-16 ソフトピアジャパン ドリーム・コア310号室



画像部位

■画像サイズの指定はPX(ピクセル)指定から% (等分) 指定へ
iPhoneやAndroid系スマホやタブレットなど様々なデバイスの表示を可能にするため、従来の固定された画像サイズ指定であるピクセルを%指定で制御します。

subBOX及びmainBOX1~4の全幅(100%)に対して画像の横幅を指定します。

装飾タイプ	PC&タブレット時の横幅	スマホ480px以下の横幅
初期に設定された画像装飾	BOX幅1/1(max100%) ※画像下に余白無 横幅100%未満の画像を登録した場合は、原寸中央揃えとなります。	BOX幅1/1(100%) ※画像下に余白無
画像サイズ01	BOX幅1/1(100%)	BOX幅1/1(100%)
画像サイズ02	BOX幅1/2(50%)	BOX幅1/1(100%)
画像サイズ03	BOX幅1/3(33.3%)	BOX幅1/2(50%)
画像サイズ04	BOX幅1/4(25%)	BOX幅1/2(50%)
画像サイズ05	BOX幅1/5(20%)	BOX幅1/2(50%)
画像サイズ06	BOX幅1/1(100%) 画像サイズが1/6(16.6%)	BOX幅1/1(100%) 画像サイズが1/2(1%)



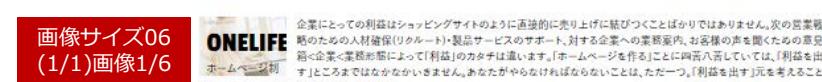
企業にとっての利益はショッピングサイトのように直接的に売り上げに結びつくところばかりではありません。次の営業戦略のための人材健保(リクルート)・製品サービスのサポートに対する企業への業務顧慮、お客様の声を聞くための意見箱へ企業・業務会社によって「利益」のかたちでいます。ホームページを作ることになると古事記七篇にしては「利益を出す」ところにはなかなかいきません。あなたがやらなければならぬことは、たゞ一つ、「利益」を出すことをまことです。ホームページを作ることの必要はありません。



企業にとっての利益は「セイブイング」のようではなく、直接的でありては「アシスト」こと何よりも次に来る。次に競争戦略のものとみなす。
企業は資源(リソース)をサポートする企業である。企業の業務範囲内、お客様の声を聞くための窓口を企・業者形態によって
立派の力の差はあくまでも「ホームページ」を立てるにこぎあつて、
「利益」のカタは温めぬ。「ホームページ」を作ることにこぎあつて、
「利益」を立てるところではなかなかできません。



 企業にとっての利益はショッピングサイトの リアルな商品写真によるもの	画像サイズ04 (1/4)	 益はショッピングサ イトのように西面 にうつ はまつ 画像サイズ05 (1/5)
--	-------------------------	---





ページを構成するBOXと画像サイズの基本

コンテンツを作成するためにページのサイズを把握します。

スマート対応版contents playerのサイト基本寸法

496px

MENU001 MENU002 MENU003 MENU004

製品情報
summons_1

業務案内
summons_2

企業情報
summons_3

更新情報
summons_4

お問い合わせ
summons_5

お問い合わせ
summons_6

subBOX領域
992px

navi1領域

248px

708px

100%(12カラム)
「君達は自衛隊在職中、決して国民から感謝されたり、歓迎されることなく、自衛隊を終わらせるかもしれない。きっと非難とか叱咤ばかりの一生かもしれない。」
御芳介たる想い。しかし、自衛隊が国民から歓迎されちゃう事態は、外國から攻撃されて国家存亡の時とか、災害派遣の時とか、国民が困窮し国家が本当に直面している時に、日本は世界で最も安全な国だとして、世界に安心感を与える日陰者である時のほうが、国民や日本は幸せなのだ。どうか、耐えてください。

navi2領域

ローカルメニュー01タイプ

苔原は愛である。名前はまだ無い。

BIOS
本文表記05タイプ(本文の色等を変更し、文字色・指定色)本文中に強調したトキメク文があれば、強調色を表示する事が可能。

「君達は自衛隊在職中、決して国民から感謝されたり、歓迎されることなく、自衛隊を終わらせるかもしれない。きっと非難とか叱咤ばかりの一生かもしれない。」

本文表記05タイプ
「君達は自衛隊在職中、決して国民から感謝されたり、歓迎されることなく、自衛隊を終わらせるかもしれない。きっと非難とか叱咤ばかりの一生かもしれない。」

ローカルメニュー01タイプ

342px
50%

220px
25%

ローカルメニュー02タイプ

1ページはsubBOX(1)・mainBOX(4つ)、
計5つのBOXで1ページは構成されています。



ページは、3つのBOXレイアウトパターンを持っています。
編集中でも、BOXレイアウトを変更すると、ページは変化します。





画像の登録方法①

目安になるサイズで画像を登録しておけば、後々サイズの変更は、「画像サイズ」を変えるだけです。

- ① スマホやデジカメ、フリー素材で画像を用意します。



[注意] 高画質の画像をそのままアップロードするとサイトの読み込みが遅くなりますので、必ずリサイズして下さい!!

- ② 画像をリサイズ



フォトショップ等の画像加工ソフトで右の基本寸法を参考にリサイズします。

画像ソフト使わず
ファイルを直接リサイズします。



③ [画像]部の[リサイズ]にて、フォトショップ等の画像加工ソフトで右の基本寸法を参考にリサイズした画像をアップロードします。

④ 画像の説明を入れます

⑤ 画像サイズ02

⑥ 画像下に文章を入れる場合は、文章を入力し装飾します。
※必要ない場合は、この工程をパスして下さい。

⑦ 内容を反映し実行する

編集を取り消して閉じる

目的に応じたリサイズ

③

リサイズ/幅708px(mainBOX全幅)

リサイズ無/サイズのまま

リサイズ/幅708px(mainBOX全幅)

リサイズ/幅342px(mainBOX・1/2)

リサイズ/幅220px(mainBOX・1/3)

リサイズ/幅159px(mainBOX・1/4)

リサイズ/幅98px(mainBOX・1/5)

リサイズ/幅992px(subBOX全幅)

リサイズ/幅484px(subBOX・1/2)

リサイズ/幅315px(subBOX・1/3)

リサイズ/幅315px(subBOX・1/4&アイキャッチ)

リサイズ/幅315px(subBOX・1/5&アイキャッチ)

リサイズ/幅496px(header用・1/2)

リサイズ/幅248px(navL全幅)

- 利用が多いのは、
■708px(mainBOX全幅)
■342px(mainBOX・1/2)
■992px(subBOX全幅)

画像の容量や品質に応じて、リサイズを活用して下さい。

- ⑤ リサイズしアップロードされた画像に対して、サイト上でどの大きさで表示するかを決定するのが「画像サイズ」です。

初期まま変更しない場合

画像サイズ02を選択(サイズ50%)

画像ファイルをアップロードした後、「画像サイズ」の変更で、サイト上の
画像サイズはいつでも変更可能です。
リサイズ後の画像が小さい場合、大きくするとぼけますので、注意が必要です。



⑦



画像の登録方法②

ページレイアウトで重要な余白指定は、contents player内にあらかじめ用意されています。

■ 画像下の余白の取り方[基本機能]

画像部位のOPTIONを利用し、回り込みのある無して画像下の隙間の大きさが変わります。
一区切り段落を開けたい場合は、**回り込みしないの初期設定**を使用して下さい。

OPTION 画像のサイズ(横幅等分)を指定します

▶ [画像]部位の横幅 ※画像を次の部位に対して回り込みさせたり、画像の描画を設定する事ができます。

回り込みしない(初期設定) **画像を左に表示** **画像を右に表示**

初期設定及び画像サイズ01～06の右左回り込み有



上下余白が小さい(12px)



画像サイズ01～06の右左回り込み無

上下余白が大きい(24px)



初期設定の右左回り込み無

上下余白が無い



※初期設定装飾で、回り込みしない場合のみ、余白はありません。
画像をくっつけて並べる時に便利です。

■ 回り込みについて

HTMLにおける「回り込み」の指定には特有の規則があります。この規則を把握することでレイアウトがスムーズに行えます。

「回り込み」を指定せず、2つの画像を登録すると上下に並びます。

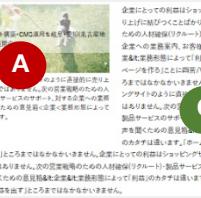


Aにに対して、次の部位であるBを回り込みさせるため「回り込み指定」をする。



Bが回り込んでAが左に表示されます。

次の部位であるCが本文の場合は、新聞や雑誌のように流し込みになります。



ついでに、手順を追うとこんな感じになります。配置によっては、このように回り込みしないで並んでしまうことがあります。この問題を解決するための対策は、HTMLの「float:left;」や「float:right;」属性を付けて、各要素の配置を制御する方法です。



画像の登録方法③

デバイスに応じた2枚の画像を用意することで、表示切替が可能になります。

■PC&タブレット用とスマホ用の画像を切り替える[CP文法]

画像部位(画像+文章のセット)をまるごとデバイスに応じて表示を切り替えます。

横長で使うことの多いPCでは、横対比の大きい画像を使います。しかし、縦長で見る事の多いスマホで見た場合、画像が小さく感じます。
スマホ用に縦長の画像を用意することで解決することができます。

PC&タブレット用画像とスマホ用画像を切り替える。

PCで見る

PC&タブレット用の横型の画像と文章

元画像W1708px×H468px

横長で使うことの多いPCでは、横対比の大きい画像を使います。しかし、縦長で見る事の多いスマホで見た場合、画像が小さく感じます。スマホ用に縦長の画像を用意することで解決できます。

▶ 画像の説明

※画像に対する説明文です。ALTに相当([PC用画像]画像の説明)
キャプションなし(初期設定)キャプシ

PC&タブレット用画像とスマホ用画像を切り替える。

スマホで見る

スマホ用の縦型の画像と文章

元画像W348px×H348px

PC&タブレット用画像とスマホ用画像を用意することで、見やすさの追求するばかりでなく、スマホでご覧の方へのアプローチやキャンペーン画像を表示させる事が可能です。

▶ 画像の説明

※画像に対する説明文です。ALTに相当([スマホ用画像]画像の説明)
キャプションなし(初期設定)キャプシ

手順

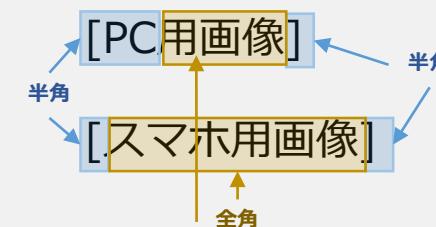
PC用とスマホ用の画像を2枚用意します。

PC用画像を入れた[画像]部位

スマホ用画像を入れた[画像]部位

管理画面で、分かりやすいように[画像]部位を並べておくと便利です。

CP記号	表示と非表示のタイミング
[PC用画像]	489px以上のデバイス
[スマホ用画像]	488px以下のデバイス



PCTで表示する画像部位とスマホで表示する部位を別々のモノにすることプロモーションにも使えます。



本文部位

初期設定 装飾

初期設定された本文装飾タイプ00…初期色/左揃え本文中に強調したい文字列があれば、強調タグを使用する事がします。

本文中にリンクを設定したい場合は、リンクタグを用いる事もできます。[LINK 詳細はこちらをご覧下さい。](#)

左揃え

本文装飾 01

本文装飾タイプ01…「初期設定された本文装飾」と同じ、1行リンクの形状が違います。

本文テキストには文字色・文字の大きさ・斜体・インデントを初めとする書体装飾を始め、段落ごとに文字の背景色や枠線を使用して、編集する事が出来ます。本文中にリンクを設定したい場合は、リンクタグを用いる事もできます。

[LINK 詳細はこちらをご覧下さい。](#)

本文装飾 02

本文装飾タイプ02…「本文」部位自身が中央揃えとなります。

本文テキストには文字色・文字の大きさ・斜体・インデントを初めとする書体装飾を始め、段落ごとに文字の背景色や枠線を使用して、編集する事が出来ます。本文中にリンクを設定したい場合は、リンクタグを用いる事もできます。

[LINK 詳細はこちらをご覧下さい。](#)

中央揃え

本文装飾 03

本文装飾タイプ03…「本文」部位自身が右揃えとなります。

本文テキストには文字色・文字の大きさ・斜体・インデントを初めとする書体装飾を始め、段落ごとに文字の背景色や枠線を使用して、編集する事が出来ます。本文中にリンクを設定したい場合は、リンクタグを用いる事もできます。

右揃え

[LINK 詳細はこちらをご覧下さい。](#)

本文装飾 04

本文装飾タイプ04…新聞記事のように2段で処理されるキスの流し込みが行われます。

本文テキストには文字色・文字の大きさ・斜体・インデントを初めとする書体装飾を始め、段落ごとに文字の背景色や枠線を使用して、編集する事が出来ます。本文中にリンクを設定したい場合は、リンクタグを用いる事もできます。

[LINK 詳細はこちらをご覧下さい。](#)

本文装飾 05

本文装飾タイプ05…全幅に対して横幅50%でブロック化されます。

50%ブロック化

本文テキストには文字色・文字の大きさ・斜体・インデントを初めとする書体装飾を始め、段落ごとに文字の背景色や枠線を使用して、編集する事が出来ます。本文中にリンクを設定したい場合は、リンクタグを用いる事もできます。

[LINK 詳細はこちらをご覧下さい。](#)

本文装飾 06

本文装飾タイプ06…左右に48pxの余白を持ったレイアウト

本文テキストには文字色・文字の大きさ・斜体・インデントを初めとする書体装飾を始め、段落ごとに文字の背景色や枠線を使用して、編集する事が出来ます。本文中にリンクを設定したい場合は、リンクタグを用いる事もできます。

左右に48pxの余白

※装飾タイプ05の50%ブロック表示とは違い、装飾タイプ05は現在のBOX幅100%に対して、雑誌や新聞等で割り込みのある1/2で流し込みを行います。

[LINK 詳細はこちらをご覧下さい。](#)

余白

▶ 本文の編集

※本文を入力して下さい。※基本的に制限はありません※改行はそのまま反映されます

■ 本文装飾タイプ01…「初期設定された本文装飾」と同じ、1行リンクの形状が違います。

本文テキストには文字色・文字の大きさ・斜体・インデントを初めとする書体装飾を始め、段落ごとに文字の背景色や枠線を使用して、編集する事が出来ます。本文中にリンクを設定したい場合は、リンクタグを用いる事もできます。

CP EDITOR画面

OPTION 本文に装飾(スタイル)を設定できます

▶ [本文]部位の装飾

■ 本文装飾01

(続けて部位を表示しない(クリア: 初期設定) 続けて部位を表示する)

▶ [本文]部位の装飾

※本文の色やサイズを変更することができます。

■ 本文装飾01

(続けて部位を表示しない(クリア: 初期設定) 続けて部位を表示する)

本文装飾タイプ01…「初期設定された本文装飾」と同じ、1行リンクの形状が違います。

本文テキストには文字色・文字の大きさ・斜体・インデントを初めとする書体装飾を始め、段落ごとに文字の背景色や枠線を使用して、編集する事が出来ます。本文中にリンクを設定したい場合は、リンクタグを用いる事もできます。

下余白が大きい(24px)

本文装飾タイプ01…「初期設定された本文装飾」と同じ、1行リンクの形状が違います。

本文テキストには文字色・文字の大きさ・斜体・インデントを初めとする書体装飾を始め、段落ごとに文字の背景色や枠線を使用して、編集する事が出来ます。本文中にリンクを設定したい場合は、リンクタグを用いる事もできます。

下余白が小さい(12px)



本文部位の一行リンクの設定

本文部位には、予めひとつのリンクボタンが用意されています。

改行したい場所にCP文法「¶(だんらくで変換される記号)」を入れると改行されます。

OPTION 本文の最後に一行のリンクを設定することができます。(関連リンクや参照URL等に応用できます)

▶ 1行リンクの設定

※3つの選択肢からひとつを選んで下さい。リンク先を設定することができます。
※外部リンクを選択した場合は、http://www.のURLを入力して下さい。

▼ 文字設定 サイト専用CMSの詳しい活用方法はサポートページへ。
改行用記号

◎ リンク
◎ サイト専用 CMS
◎ 外部リンク
◎ ファイル指定 参照... ファイルが選択されていません。

CP文法の指定が無い場合の一行リンク

LINK サイト専用CMSの詳しい活用方法はサポートページへ。

CP文法「¶」の指定がある場合の一行リンク

LINK サイト専用CMS
の詳しい活用方法はサポートページへ。

先頭に色指定のCP文法を入れる事で、ボタンの色を変更することができます

▶ 文字設定 @ R サイト専用CMSの詳しい活用方法はサポートページへ。

先頭に色指定CP文法



LINK サイト専用CMSの詳しい活用方法はサポートページへ。

AA 見出部位

■ SEO的な重要度も高い見出し装飾を切り替えてサイト表現を強化。

タグやSPAN系CP文法を挿入して文字の大きさや色を変更可能です。

CP文法を使用しない状態の[見出]部位

[見出]部位で、選択された「初期設定された見出装飾」タイプ	初期装飾
[見出]部位で、選択された「見出装飾01」タイプ	見出装飾01
[見出]部位で、選択された「見出装飾02」タイプ	見出装飾02
[見出]部位で、選択された「見出装飾03」タイプ	見出装飾03
[見出]部位で、選択された「見出装飾04」タイプ	見出装飾04
[見出]部位で、選択された「見出装飾05」タイプ	見出装飾05
[見出]部位で、選択された「見出装飾06」タイプ	見出装飾06

初期設定された見出装飾 [見出]部位で、選択された「初期設定された見出装飾」タイプ
見出装飾01 [見出]部位で、選択された「見出装飾01」タイプ
見出装飾02 [見出]部位で、選択された「見出装飾02」タイプ
見出装飾03 [見出]部位で、選択された「見出装飾03」タイプ
見出装飾04 [見出]部位で、選択された「見出装飾04」タイプ
見出装飾05 [見出]部位で、選択された「見出装飾05」タイプ
見出装飾06 [見出]部位で、選択された「見出装飾06」タイプ

■ 色指定用CP文法を挿入して[見出]部位の装飾を変える。

▶ 見出し文書	※オプションで画像を指定した場合、ALTに相当します。(マウスオーバーした時に表示される文章)
	@ R 初期設定された見出装飾@ [見出]部位で、選択された「初期設定された見出装飾」タイプ

例: 色指定用のCP文法「@ R」と「@」で範囲を指定すると赤色系に変わります。

▶ 見出し文書	※オプションで画像を指定した場合、ALTに相当します。(マウスオーバーした時に表示される文章)
	@ R 初期設定された見出装飾 [見出]部位で、選択された「初期設定された見出装飾」タイプ

例: 色指定用のCP文法「@ R」に入れ、閉じ記号が無い場合は、全体が赤系に変わります。

※オプションで画像を指定した場合、ALTに相当します。(マウスオーバーした時に表示される文章)	[見出]部位で、選択された「見出装飾01」タイプ
改行したい場所にCP文法「 (だんらくで変換される記号)」を入れると改行されます。	

初期設定された見出装飾 [見出]部位で、選択された「初期設定された見出装飾」タイプ
見出装飾01 [見出]部位で、選択された「見出装飾01」タイプ
見出装飾02 [見出]部位で、選択された「見出装飾02」タイプ
見出装飾03 [見出]部位で、選択された「見出装飾03」タイプ
見出装飾04 [見出]部位で、選択された「見出装飾04」タイプ
見出装飾05 [見出]部位で、選択された「見出装飾05」タイプ
見出装飾06 [見出]部位で、選択された「見出装飾06」タイプ



表組部位

■デザイン化された表組みを効果的に利用してサイトを見やすく。

スマート時代のレイアウトは、デバイスに応じて表示サイズが可変します。可変に不向きなテーブルを可変可能にしました。

項目名	セルの中に本文・画像を設定できます。(初期:左揃え) ※管理画面で表罫や文字の色が変更可能です。	»一行リンクの設置
項目名	セルの中に本文・画像を設定できます。(中央揃え)	行列の増減可能
項目名	セルの中に本文・画像を設定できます。(右揃え)	個別にセル色変更 初期装飾

表組とセットで、表の下に本文を挿入することができます。

項目名	セルの中に本文・画像を設定できます。(初期:左揃え) ※管理画面で表罫や文字の色が変更可能です。	»一行リンクの設置
項目名	セルの中に本文・画像を設定できます。(中央揃え)	行列の増減可能
項目名	セルの中に本文・画像を設定できます。(右揃え)	個別にセル色変更 表組装飾01

表組とセットで、表の下に本文を挿入することができます。

項目名	セルの中に本文・画像を設定できます。(初期:左揃え) ※管理画面で表罫や文字の色が変更可能です。	»一行リンクの設置
項目名	セルの中に本文・画像を設定できます。(中央揃え)	行列の増減可能
項目名	セルの中に本文・画像を設定できます。(右揃え)	個別にセル色変更 表組装飾02

表組とセットで、表の下に本文を挿入することができます。

項目名	セルの中に本文・画像を設定できます。(初期:左揃え) ※管理画面で表罫や文字の色が変更可能です。	»一行リンクの設置
項目名	セルの中に本文・画像を設定できます。(中央揃え)	行列の増減可能
項目名	セルの中に本文・画像を設定できます。(右揃え)	個別にセル色変更 表組装飾03

表組とセットで、表の下に本文を挿入することができます。

注意



デバイスによる様々な画面サイズ

固定レイアウトから可変レイアウトへ ※テーブルによるレイアウトはなるべく避けて下さい。

5インチ等のスマートを縦表示で見る事の多い現在、テーブルによるレイアウトは、極力使用しないで下さい。

どうしてものは場合は、スマート可変しない初期に設定された表組装飾を使用して下さい。

項目名	セルの中に本文・画像を設定できます。(初期:左揃え) ※管理画面で表罫や文字の色が変更可能です。	»一行リンクの設置
項目名	セルの中に本文・画像を設定できます。(中央揃え)	行列の増減可能
項目名	セルの中に本文・画像を設定できます。(右揃え)	個別にセル色変更 表組装飾04

表組とセットで、表の下に本文を挿入することができます。

項目名	セルの中に本文・画像を設定できます。(初期:左揃え) ※管理画面で表罫や文字の色が変更可能です。	»一行リンクの設置
項目名	セルの中に本文・画像を設定できます。(中央揃え)	行列の増減可能
項目名	セルの中に本文・画像を設定できます。(右揃え)	個別にセル色変更 表組装飾05

表組とセットで、表の下に本文を挿入することができます。

項目名	セルの中に本文・画像を設定できます。(初期:左揃え) ※管理画面で表罫や文字の色が変更可能です。	»一行リンクの設置
項目名	セルの中に本文・画像を設定できます。(中央揃え)	行列の増減可能
項目名	セルの中に本文・画像を設定できます。(右揃え)	個別にセル色変更 表組装飾06

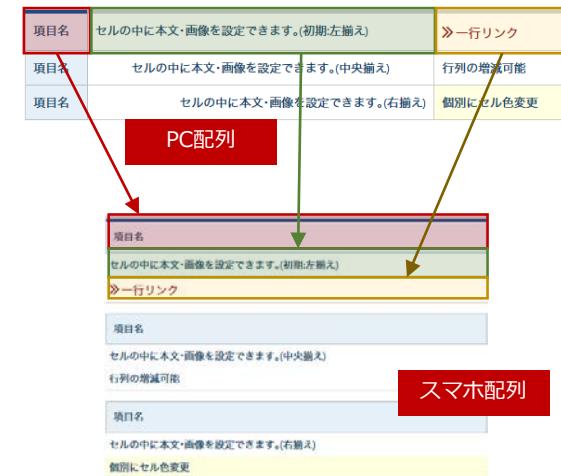
表組とセットで、表の下に本文を挿入することができます。

■スマートで表組みが可変します。

PCで最適に作られた表も縦長のスマートサイズ(488px以下)で見た場合見づらくなります。表の配列を並び変えることで見やすさを追求しています。

装飾タイプ名	スマート可変 488px以下
初期に設定された表組装飾	×
表組装飾01	○
表組装飾02	○
表組装飾03	○
表組装飾04	○
表組装飾05	○
表組装飾06	○

PC用からスマート用配列への並び順ルール





表組部位のCP文法

●部位のレイアウトに関する仕様及び、CP文法(特殊記号)の挿入により、部位自体の装飾やレイアウトを変更する事が出来ます。

■表組を更に装飾したり、機能を付加します[CP文法]

情報を整理するのに便利な表組にスクロールや行の交互表示や全体に色を配置する機能が増えます。

項目名	セルの中に本文・画像を設定できます。(初期:左揃え) ※管理画面で表罫や文字の色が変更可能です。	»一行リンク
項目名	セルの中に本文・画像を設定できます。(中央揃え)	行列の増減可能
項目名	セルの中に本文・画像を設定できます。(右揃え)	空のセルには薄いグレーが入ります。

▶表組のタイトル 先頭に色指定CP分法 さんが、表の意味を伝えるタイトルを入力してください。

@[R [表組]部位装飾01タイプ

▶縦横セルの設定

※作成する表の行と列を設定してください。(最大12列×31行の表を作成できます)
※表を使用しない場合は表の縦または横の設定を0にしてください。表が削除されます。
※表の縦(列)・横(行)のいずれかを0になると生成した表が削除されます。(要注意)

表の縦(行) 3 表の横(列) 3

■CP文法により色変更された[表組]の例

項目名	セルの中に本文・画像を設定できます。(初期:左揃え) ※管理画面で表罫や文字の色が変更可能です。	»一行リンクの設置
項目名	セルの中に本文・画像を設定できます。(中央揃え)	行列の増減可能
項目名	セルの中に本文・画像を設定できます。(右揃え)	個別にセル色変更

表組とセットで、表の下に本文を挿入することができます。

項目名	セルの中に本文・画像を設定できます。(初期:左揃え) ※管理画面で表罫や文字の色が変更可能です。	»一行リンクの設置
項目名	セルの中に本文・画像を設定できます。(中央揃え)	行列の増減可能
項目名	セルの中に本文・画像を設定できます。(右揃え)	個別にセル色変更

表組とセットで、表の下に本文を挿入することができます。

[scroll □]
表を縦にスクロール

スクリールバー表示

項目名 セルの中に本文・画像を設定できます。(初期:左揃え)
※管理画面で表罫や文字の色が変更可能です。※管理画面で表罫や文字の色が変更可能です。※管理画面で表罫や文字の色が変更可能です。

指定の高さ分表示

名 姓

セルの下に本文・画像を設定できます。(右揃え)

個別にセル色変更

下に長くなりがちな表の一部を見せてスクロールする時に便利。

[50%]
表の横幅を半分

項目名	セルの中に本文・画像を設定できます。(初期:左揃え) ※管理画面で表罫や文字の色が変更可能です。	»一行リンクの設置
項目名	セルの中に本文・画像を設定できます。(中央揃え)	行列の増減可能
項目名	セルの中に本文・画像を設定できます。(右揃え)	個別にセル色変更

表組とセットで、表の下に本文を挿入することができます。

項目名	セルの中に本文・画像を設定できます。(初期:左揃え) ※管理画面で表罫や文字の色が変更可能です。	»一行リンクの設置
項目名	セルの中に本文・画像を設定できます。(中央揃え)	行列の増減可能
項目名	セルの中に本文・画像を設定できます。(右揃え)	個別にセル色変更

表組とセットで、表の下に本文を挿入することができます。

項目名	セルの中に本文・画像を設定できます。(初期:左揃え) ※管理画面で表罫や文字の色が変更可能です。	»一行リンクの設置
項目名	セルの中に本文・画像を設定できます。(中央揃え)	行列の増減可能
項目名	セルの中に本文・画像を設定できます。(右揃え)	個別にセル色変更

表組とセットで、表の下に本文を挿入することができます。

項目名	セルの中に本文・画像を設定できます。(初期:左揃え) ※管理画面で表罫や文字の色が変更可能です。	»一行リンクの設置
項目名	セルの中に本文・画像を設定できます。(中央揃え)	行列の増減可能
項目名	セルの中に本文・画像を設定できます。(右揃え)	個別にセル色変更

表組とセットで、表の下に本文を挿入することができます。

BOXの背景機能②

●subBOX1つ、mainBOX4つ、計5つあるBOXの背景を適切に設定することでレイアウトに変化を与えます。

■特殊BOX指定[半自動レイアウト機能]

汎用BOX背景と同じ設置方法で、特殊BOXを設定。BOXごとに決められたレイアウトルールが存在し、通常編集のルールが一部無視されます。

部位を均等に揃えるBOX[特殊枠01(自動均等)]



1.[画像][本文][見出]部位を強制的に1/3にし、大きさの違う部位の間の隙間が埋まるように並べ替えます。

2.デバイスの横幅に応じて適切な縦サイズを計算します。
部位の順番は故意に決められません。



サイドメニュー無しBOXの場合は4列

スマホでは2列自動可変

部位の間隔を狭くするBOX[特殊枠02(間隔狭)]



部位の間隔が6PXで狭いレイアウトが実現可能

どこで生れたかとんと見当がつかぬ。でも薄暗いじめじめした所でニャーニャー泣いていた事だけは記憶している。書生はここ始めて人間というのを見た。しかもあとで聞くとそれは書生という人間中で一番浮浪な隕族であったそうだ。この書生というの時は我々を煮て煮て煮るという話である。しかしその当時は何という考もなかったから別凶しいとも思はなかった。ただ娘の掌に籠せられて手と一緒に上げられた時何だかフワフワした感じがあつたばかりである。掌の上で少し落つて書生の顔を見るのがわからず人間といひものを見ぬであらう。この時珍なものと思った感じが今でも残っている。第一毛をもつて袋筋されべきはずの筋がつるつるしてまるで柔軟だ。その後横にもだいも達ったがこんな片輪には一度も出会った事がない。のみならず筋の中が空氣で充満している。そしてその穴の中から時々ぶらぶらと雄を吹く。どうも頬ほくで奥に響いた。これが人間の娘も煙柱というのである事はようやくこの頃知った。



通常部位の隙間は24pxあります。このBOXを選択すると[画像]部位の隙間が狭くなります。

部位の中央揃えにするBOX[特殊枠03(中央配置)]



見出しは横幅100%で表示されます

BOXBG03タイプのページは、[画像]部位のみ、中心揃えとなり、ページレイアウトのアクセントとして利用出来ます。見出や本文、表は全幅100%で表示されます。



[画像]部位が左右中心にならびます。
画像以外の部位はセンターになりません。[本文]部位の場合は装飾タイプでセンターにして下さい。

基本知識①

■情報(画像や文章)を加工することで、ページの訴求力を増やす2つの手法。

ワープロソフトのような操作性と複雑な装飾を実現するマークアップ記号(CP分法)を実装しました。

現在、サイトを編集する際に用いられる手法として大きく二つ存在します。

①WYSIWYG EDITOR(ウィジウイグエディタ)を使用して**ワープロ感覚の視覚編集をする**。多くのブログサイトで用いられ、編集エリアにツールバーがあるのが特徴。タグのミスが多い。

②BBコードと呼ばれる特殊記号を使用し、文字を装飾する。WYSIWYG EDITORのような**視覚操作ではありませんが**、wikiのようなテキスト系に優れた編集法。タグのミスが少ない。

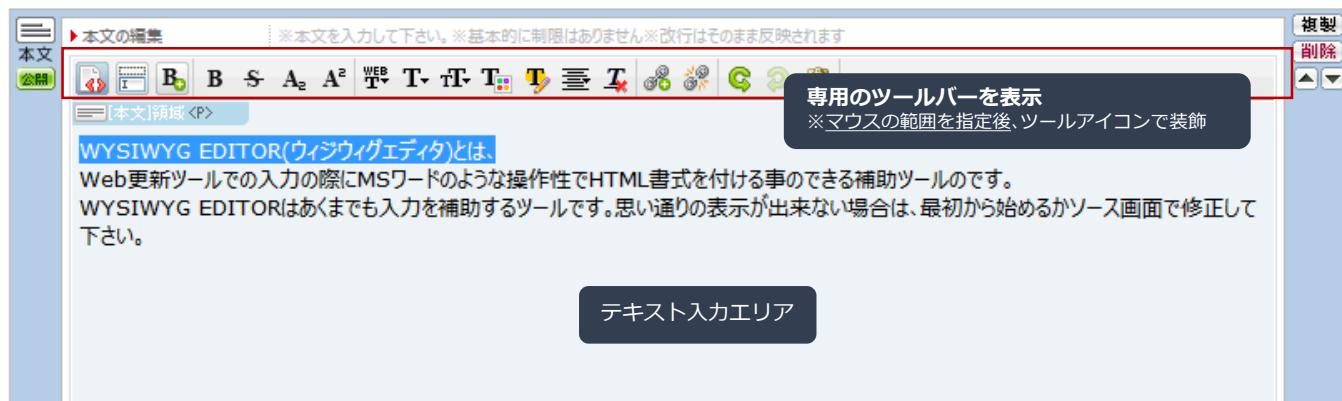
スマート版contents playerでは、専用**WYSIWYG EDITOR(CP EDITOR)**と専用BBコード(**CP文法**)の二つを利用して、ページを編集&デザインすることが可能です。

テキスト入力エリア内の編集には

専用WYSIWYG EDITOR

CP EDITOR

専用設計されたCP EDITORでは、様々なブラウザで同一の書体表現を実現する**WEBフォント**の指定や最新**CSS3**のスタイルを適応して、装飾することができます。



一行入力エリアでの利用が多い

専用BBコード

CP文法

複雑な装飾デザイン&レイアウトを簡略化された記号の組み合わせで表現可能になったのがCP文法です。

※CP文法用の記号は、部位の種類により異なりますので、各部位の解説をご覧下さい。

CP分法用の記号は単純な全角文字の組み合わせで構成されています。

※通常使用されることの無い記号に役割を与えています。本文中に使用しないで下さい。



上記の場合、**全①**が、CP分法記号になります。※全は「おなじ」で変換される**全角記号文字**です。

基本知識②

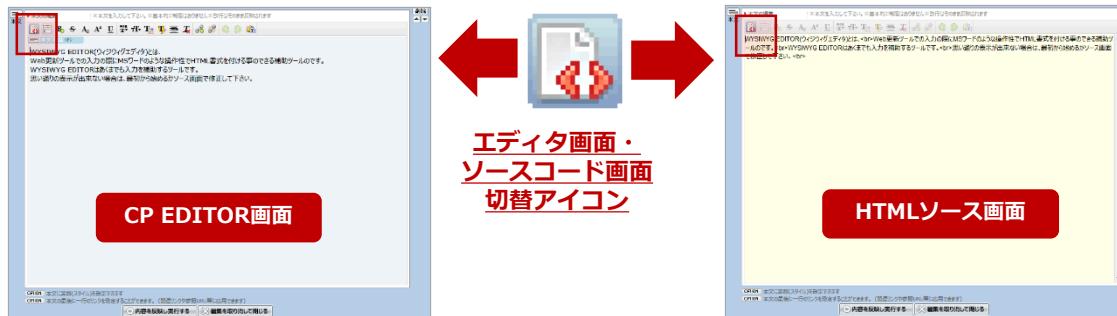
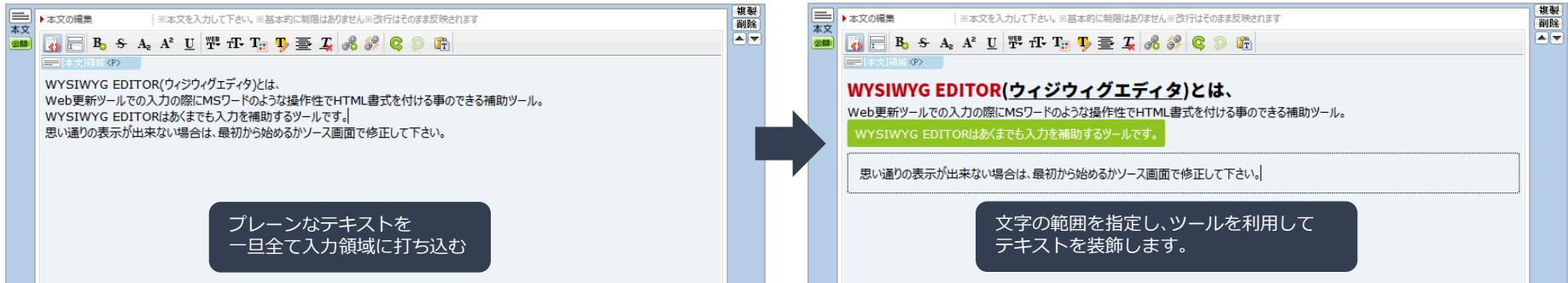
■見た目を気にしながら、ワープロ感覚でサイトを更新する専用CP EDITOR。

WYSIWYG EDITOR(ウィジウイグエディタ)とは、更新の際にMSワードのような操作性でHTML書式を付ける事ができる補助ツールです。

■使用するための基本

①エディタ領域に一旦、全て文字を入力 ②その後、アイコンで装飾して下さい。

※WYSIWYG EDITORの特性上、入力しながら装飾挿入や装飾消去を繰り返すと、複雑なタグの入れ子が起こり、正常に表示されない状態が頻繁に起きますので、表示が崩れたら最初からやり直して下さい。



HTMLソース画面

HTMLを理解している場合、手動によるソースコードの修正や追加ができます。

不必要的タグや不足なタグがあると、ページの大きな乱れとなりますので、ご理解の上使用して下さい。

エディタ機能を使用中、カーソルが思う位置に動かなかったり、一旦キレイに消去したい場合は、ソースコード画面で、移動や全消去を行って下さい。

部位の特性を活かした3つのツールバー

[画像][本文][タグ]部位の入力の際、WYSIWYG EDITORが利用出来るツールバーが表示されます。
ツールバーは部位固有の機能に応じて、利用できる機能が違います。

[本文]部位専用ツールバー



※本文(テキスト)を装飾するのに特化したツール群のアイコン

[画像]部位専用ツールバー



※画像に対する文章装飾に特化したツール群のアイコン

[タグ]部位専用ツールバー



※本文と画像に対する装飾+特殊な機能や独自レイアウトを実現するツール群のアイコン

本文部位用ツールバー①

■文章をわかりやすくするための囲い罫や強調させる装飾を指定する。

文章を章ごとに囲ったり、指定単語を強調させるためのcontents player専用のCSSを施すことが出来ます。



囲み装飾01-09 囲み装飾01～09は、通常の囲い装飾タイプ

文字囲い罫タイプ1の指定はこの装飾です

文字囲い罫タイプ2の指定はこの装飾です

文字囲い罫タイプ3の指定はこの装飾です

文字囲い罫タイプ4の指定はこの装飾です

文字囲い罫タイプ5の指定はこの装飾です

文字囲い罫タイプ6の指定はこの装飾です

文字囲い罫タイプ7の指定はこの装飾です

文字囲い罫タイプ8の指定はこの装飾です

文字囲い罫タイプ9の指定はこの装飾です

囲み装飾11-19 囲み装飾11～19は、文章中に通常より多めの余白を取る装飾のため、罫線やボーダーの色は無彩色のグレーが設定されています。

文字囲い罫タイプ11の指定はこの装飾です

文字囲い罫タイプ12の指定はこの装飾です

文字囲い罫タイプ13の指定はこの装飾です

文字囲い罫タイプ14の指定はこの装飾です

文字囲い罫タイプ15の指定はこの装飾です

文字囲い罫タイプ16の指定はこの装飾です

文字囲い罫タイプ17の指定はこの装飾です

**横幅1/1
100%のBOX**

**18・19は、
横幅1/3の
BOX**

字囲い罫タイプ18の指定はこの装飾

字囲い罫タイプ19の指定はこの装飾です

CP EDITOR上では、左記の色でそれぞれ固定表示されます。

※実際のサイト上でも同様の色で表示されます。



囲み装飾01～09は、濃紺色(CP記号「@ N」指定色)

囲み装飾11～19は、グレー色

本文部位用ツールバー②

■文章を強調させる装飾と<bold>装飾を指定する。

文章を章ごとに囲ったり、指定単語を強調させるためのcontents player専用のCSSを施すことが出来ます。



強調装飾00-09

指定された範囲を強調して装飾する機能

指定した範囲はを使用するため、SEO的に重要なキーワードや文章に使用するのが適切です。

強調装飾01...二重線のアンダーラインで範囲を強調します。

強調装飾02...マーカーペンのようなラインで範囲を強調します。

強調装飾03...文字に影(テキストシャドー処理)を付けて範囲を強調します。

強調装飾04...先頭に角丸ボーダー付けて行範囲を強調します。

強調装飾05...先頭に矢印アイコンを付けて行範囲を強調します。

強調装飾06...楕円の二重枠で囲い範囲を強調します。

強調装飾07...楕円の白抜き文字で範囲を強調します。

強調装飾08...斜めスプライトを背景に白抜き文字で範囲を強調します。

1 強調装飾09...カウンター番号が付き、同じ強調装飾9に連続の番号が付きます。

2 強調装飾09...2つ目の強調装飾9でカウンター番号が2になる実例。

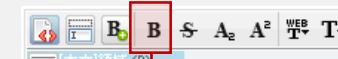
系の強調は、重要なキーワード等が含まれる場合に有効。
<bold>系の強調は、デザイン的な視覚表現をする場合に使用します。
※使い分けにご注意下さい。



太字

文字を太くする<bold>表記となります。

SEOに有効なではありませんので、ただ文字を太くしたい時にのみご使用下さい。



文字を太くする表記となります。

文字を太くする表記となります。



強調装飾00を指定

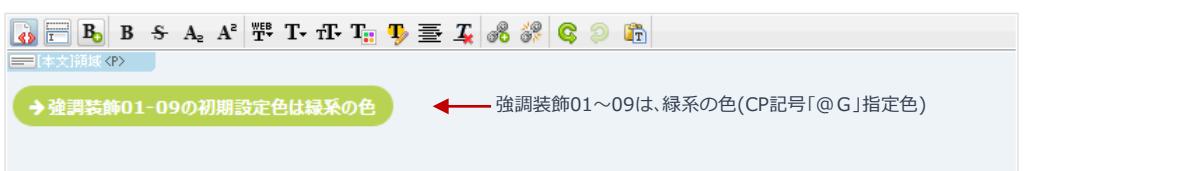
線も背景も無い「強調装飾00」を指定することで
「太字」と同じ表記となり、効果も生まれます。

文字を太くする表記となります。

文字を太くする表記となります。

CP EDITOR上では、左記の色でそれぞれ固定表示されます。

※実際のサイト上でも同様の色で表示されます。



→ 強調装飾01-09の初期設定色は緑系の色

← 強調装飾01-09は、緑系の色(CP記号[@ G]指定色)

本文部位用ツールバー③

■CP文法で「囲み装飾」「強調装飾」に特色8色を指定可能。

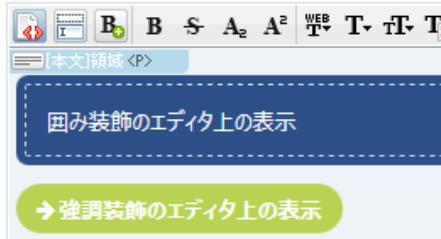
CP文法記号を使用する事で「囲み装飾」「強調装飾」にあらかじめ用意された個別の色を設定することができます。



通常の表示

初期状態

※CP記号を使用していない状態



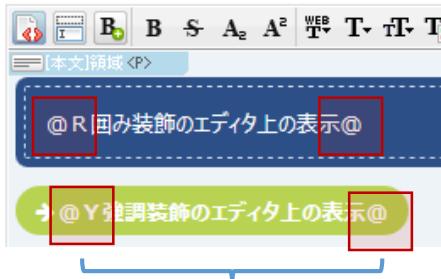
CP文法の指定がない場合は、デフォルト(初期設定)の色がサイトで表示されます。

→ 囲み装飾のエディタ上での表示

→ 強調装飾のエディタ上での表示

CP記号を挿入する

CP記号を枠内の最初と最後に指定して色を変更します。



CP文法の指定がある場合は、記号に応じて色に変換されてサイト上で表示されます。

→ 囲み装飾のエディタ上での表示

→ 強調装飾のエディタ上での表示

「@」は開始の記号
「R」は赤系文字を指定する記号
「@ R」と二文字セットにして先頭に挿入します。

「@」の一文字で閉じるの記号となります。

@ R 囲み装飾のエディタ上での表示@

全角@+全角アルファベット

入力した文字の前後に全角のCP記号を入れてくれります。

※半角英数字・記号では動作しません。

色指定に使用するCP記号一覧

色指定用のCP記号は、

- 本文部位の「囲み装飾」「強調装飾」の他、
- 画像部位の「画像枠」
- 見出部位の「見出線」に使用することが出来ます。

※この基本8色は、「サイトのテンプレートを編集する」画面で、変更可能。

@ R	赤系
@ Y	黄色系
@ G	黄緑系
@ D	濃緑系
@ B	青系
@ N	濃紺系
@ P	紫系
@ M	赤紫系
@ K	黒野

本文部位用ツールバー④

■WEBフォントを活用した豊富な文字表現を可能にする。

デバイスやブラウザによりまちまちな標準フォントによる表示ではなく、全て同じ表現を可能にするWEBフォントを利用可能にしました。

取り消し線 下付文字 上付文字

文字装飾セット 書体+太さ+サイズのセット

文字装飾タイプ01の指定はこの装飾です ABCDEFGHI 文字装飾01
文字装飾タイプ02の指定はこの装飾です ABCDEFGHI 文字装飾02
文字装飾タイプ03の指定はこの装飾です ABCDEFGHI 文字装飾03
文字装飾タイプ04の指定はこの装飾です ABCDEFGHI 文字装飾04
文字装飾タイプ05の指定はこの装飾です ABCDEFGHI 文字装飾05
文字装飾タイプ06の指定はこの装飾です ABCDEFGHI 文字装飾06
文字装飾タイプ07の指定はこの装飾です ABCDEFGHI 文字装飾07
文字装飾タイプ08の指定はこの装飾です ABCDEFGHI 文字装飾08
文字装飾タイプ09の指定はこの装飾です ABCDEFGHI 文字装飾09
文字装飾タイプ10の指定はこの装飾です ABCDEFGHI 文字装飾10
文字装飾タイプ11の指定はこの装飾です ABCDEFGHI 文字装飾11
文字装飾タイプ12の指定はこの装飾です ABCDEFGHI 文字装飾12
文字装飾タイプ13の指定はこの装飾です ABCDEFGHI 文字装飾13
文字装飾タイプ14の指定はこの装飾です ABCDEFGHI 文字装飾14
文字装飾タイプ15の指定はこの装飾です ABCDEFGHI 文字装飾15
文 装 飾 タ イ プ 1 6 の 指 定 は この 装 飾 で す ABCDEFGHI 文字装飾16
文 装 飾 タ イ プ 1 7 の 指 定 は この 装 飾 で す ABCDEFGHI 文字装飾17
文 装 飾 タ イ プ 1 8 の 指 定 は この 装 飾 で す ABCDEFGHI 文字装飾18
文 装 飾 タ イ プ 1 9 の 指 定 は この 装 飾 で す ABCDEFGHI 文字装飾19

英数字の書体のみ

noto sans japanese
ABCDEFGHIJ abcdefghij 1234567890
Gravitas One
ABCDEFGHIJ abcdefghij 1234567890
Cantata One
ABCDEFGHIJ abcdefghij 1234567890
Petrona
ABCDEFGHIJ abcdefghij 1234567890
Marcellus
ABCDEFGHIJ abcdefghij 1234567890
Ramaraja
ABCDEFGHIJ abcdefghij 1234567890
Oswald
ABCDEFGHIJ abcdefghij 1234567890
Anton
ABCDEFGHIJ abcdefghij 1234567890
Russo One
ABCDEFGHIJ abcdefghij 1234567890
Days One
ABCDEFGHIJ abcdefghij 1234567890
Homenaje
ABCDEFGHIJ abcdefghij 1234567890
Baloo Baina
ABCDEFGHIJ abcdefghij 1234567890
Passion One
ABCDEFGHIJ abcdefghij 1234567890
Oleo Script
ABCDEFGHIJ abcdefghij 1234567890
Playball
ABCDEFGHIJ abcdefghij 1234567890
Averia Libre
ABCDEFGHIJ abcdefghij 1234567890
Fredericka the Great
ABCDEFGHIJ abcdefghij 1234567890
Marck Script
ABCDEFGHIJ abcdefghij 1234567890
ABCDEFJHIJ abcdefghij 1234567890

文字サイズ

文字サイズ1
文字サイズ2
文字サイズ3
文字サイズ4
文字サイズ5
文字サイズ6
文字サイズ7

「設定された文字セット」及び「文字サイズ」で装飾された文字に対して、「**文字色**」「**文字背景色**」を施す事が出来ます。

装飾アイコンを使用して、二重の指定や入れ子の指定が可能。
※複雑な指定は、元に戻せない場合がありますので、HTMLソース画面で、修正するかソースを全消去してやり直して下さい。

本文部位置用ツールバー⑤

■テキストに色や背景色を指定したり、リンクを設置する。

[本文]入力エリアには、本文=テキストを装飾するためのツールバーアイコン群が表示されます。

ツールバーの各アイコンについて説明します。

- 水平線**: テキスト上に水平線を挿入するアイコン。
- 装飾の取り消し**: 選択した装飾を削除するアイコン。
- 戻す**: 先ほど行った操作を取り消すアイコン。
- 進める**: 先ほど行った操作を戻すアイコン。
- 文字色**: 選択したテキストの色を変更するカラーパレット。
- 文字背景色**: 選択したテキストの背景色を変更するカラーパレット。
- リンク**: 選択したテキストにリンクを設定するアイコン。
- リンク解除**: 選択したテキストのリンクを解除するアイコン。
- テキストのみコピー**: ブラウザの文字をコピーすると、付随するタグもコピーされるため、純粋なテキスト配列だけを編集エリアにコピーするためにこの「テキストのみコピー」の機能を使用して下さい。
- リンク**: 文章の中にリンクを設定することができます。
- リンク解除**: 一度設置したリンクの範囲を「リンク解除」アイコンで解除することができます。
- 装飾の取り消し**: 何重にもなる複雑な装飾の囲い込みを指定の場合、「装飾の取り消し」を行ってもキレイに削除出来ない場合があります。その場合は、「HTMLソース画面」で、修正するか全消去して、やり直すことをお勧めします。

【本文】領域 <P>

「文字色」+「文字背景色」の二重囲いができます。

※三重以上の複雑な囲い指定は、ソースコードの乱れの元となりますのでご注意下さい。

文字の背景色や文字色をカラーパレットから指定します。

範囲指定した文字列に対して、文字自体に色を指定したり、その文字の背景に色をひくことができます。カラーパレットの中から色を指定します。

※解除する場合は「装飾の取り消し」アイコンで解除することができます。

「文字背景色」は、インライン要素のため、文数分の横幅しか適応されません。蛍光ペンのようなマークーに近い装飾です。

文字の背景に色を付ける。文書の間にアクセントとして、背景色を設置可能。 文字の背景に色を付ける。

「文字背景色」を並べると下記のような表現が可能です。

文字の背景に色を付ける。 文字の背景に色を付ける。

文書の間にアクセントとして、背景色を設置可能。

Enter URL:
http://
Submit

本文部位用ツールバー⑥

■「文字色」「文字背景色」にCP記号を施す事で装飾を拡張する。

INLINE要素の文字背景色の装飾をBLOCK要素に拡張して表現の幅を広げることができます。

文字色

文字背景色

にCP文法「■/□①～□⑨」を挿入しBLOCK要素で表現する。



INLINE要素である「文字背景色」は、文章を改行した場合に横幅は文字数分しかありません。



文字の先頭にCP文法「■」を挿入する。

■INLINE要素である「文字背景色」は、文章を改行した場合に横幅は文字数分しかありません。



INLINE要素である「文字背景色」は、文章を改行した場合に横幅は文字数分しかありません。

文字の先頭にCP文法「□①～□⑨」を挿入する。

□④INLINE要素である「文字背景色」は、文章を改行した場合に横幅は文字数分しかありません。

INLINE要素である「文字背景色」は、文章を改行した場合に横幅は文字数分しかありません。

例:先頭に「□④」を挿入した場合の表現※薄い背景色の方がより効果があります。



囲み装飾11～19の装飾が文字背景色にミックスされて表示されます。

文字囲い書タイプ11の指定はこの装飾です

□①

文字囲い書タイプ12の指定はこの装飾です

□②

文字囲い書タイプ13の指定はこの装飾です

□③

文字囲い書タイプ14の指定はこの装飾です

□④

文字囲い書タイプ15の指定はこの装飾です

□⑤

文字囲い書タイプ16の指定はこの装飾です

□⑥

文字囲い書タイプ17の指定はこの装飾です

□⑦

□⑧

字囲い書タイプ18の指定はこの装飾

□⑨

字囲い書タイプ19の指定はこの装飾です

画像部位用ツールバー

■ SEO効果の高い画像の上に文字を重ねるlayerBOXを実現。

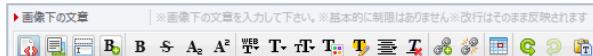
装飾された文字を画像の上に配置する機能が、[画像]部位特有の機能として追加されます。



画像の上に文字BOX

指定された範囲の文字を画像の上に表示させる機能(layerBOX)

画像の上に文字表示と画像の下に文字表示の表現を混在させることができます。



画像の上に文字列を表示

画像加工ソフトで文字を画像として扱うことが一般的なですが、この機能を使用して文字列を画像の上に表示させれば、通常の文字としてSEOによる検索対象となります。

文字を複雑なデザイン加工を行うまでも無い場合や文字を適宜に入れ替えたい場合は「画像の上に文字BOX」を使用する事で、ブラウザ上で入れ替えが可能となります。



通常の入力の場合

「画像外先頭にBOX」を選択すると
この位置に文字を表示することができます。

画像外先頭に文字BOXを表示

元画像横幅708PX



エディタ内に「重ね領域」の
layerBOXが表示されます。



画像の上に文字列を表示

画像加工ソフトで文字を画像として扱うことが一般的なですが、この機能を使用して文字列を画像の上に表示させれば、通常の文字としてSEOによる検索対象となります。

文字を複雑なデザイン加工を行うまでも無い場合や文字を適宜に入れ替えたい場合は「画像の上に文字BOX」を使用する事で、ブラウザ上で入れ替えが可能となります。

「重ね領域」の内外には文字装飾も可能です。

画像に対して文字の位置や文字の背景の組み合わせで計9つの種類。

背景が透明

- ①基点・上(背景透明)
- ②基点・中央(背景透明)
- ③画像・下(背景透明)

背景が白半調

- ⑦基点・上(背景白半調)
- ⑧基点・中央(背景白半調)
- ⑨基点・下(背景白半調)

背景が黒半調

- ④基点・上(背景黒半調)
- ⑤基点・中央(背景黒半調)
- ⑥基点・下(背景黒半調)

画像の上に文字列を表示

画像加工ソフトで文字を画像として扱うことが一般的なですが、この機能を使用して文字列を画像の上に表示させれば、通常の文字としてSEOによる検索対象となります。

layerBOXが生成されます。



文字を複雑なデザイン加工を行うまでも無い場合や文字を適宜に入れ替えたい場合は「画像の上に文字BOX」を使用する事で、ブラウザ上で入れ替えが可能となります。

「基点・下」の場合の位置

画像部位用CP文法①

■ CP文法[全①]～[全⑨]を挿入することで様々な枠装飾を実現

手間のかかる複雑なCSSによる枠装飾を簡単なCP文法で実現し、文字装飾も併用することができます。



左記の枠一覧から対応する「全①」～「全⑨」のCP文法を先頭に挿入します。
※「キャプションあり」にした場合、この記号はサイト上では表示されません

全は「おなじ」で変換される全角記号です。①～⑨も全角丸数字

■ CP文法[全①]～[全⑨]の各対応枠装飾一覧

LayerBOX
layerBOX機能を使用すると画像の上に文字を重ねることができます。

通常の「画像下の文章」編集では、画像の下に文字を配置します。[本文]部位同様、文字に対して様々な装飾を施すことが出来ます。

全①

LayerBOX
layerBOX機能を使用すると画像の上に文字を重ねることができます。

通常の「画像下の文章」編集では、画像の下に文字を配置します。[本文]部位同様、文字に対して様々な装飾を施すことが出来ます。

全②

LayerBOX
layerBOX機能を使用すると画像の上に文字を重ねることができます。

通常の「画像下の文章」編集では、画像の下に文字を配置します。[本文]部位同様、文字に対して様々な装飾を施すことが出来ます。

全③

LayerBOX
layerBOX機能を使用すると画像の上に文字を重ねることができます。

通常の「画像下の文章」編集では、画像の下に文字を配置します。[本文]部位同様、文字に対して様々な装飾を施すことが出来ます。

全④

LayerBOX
layerBOX機能を使用すると画像の上に文字を重ねることができます。

通常の「画像下の文章」編集では、画像の下に文字を配置します。[本文]部位同様、文字に対して様々な装飾を施すことが出来ます。

全⑤

LayerBOX
layerBOX機能を使用すると画像の上に文字を重ねることができます。

通常の「画像下の文章」編集では、画像の下に文字を配置します。[本文]部位同様、文字に対して様々な装飾を施すことが出来ます。

全⑥

LayerBOX
layerBOX機能を使用すると画像の上に文字を重ねることができます。

通常の「画像下の文章」編集では、画像の下に文字を配置します。[本文]部位同様、文字に対して様々な装飾を施すことが出来ます。

全⑦

LayerBOX
layerBOX機能を使用すると画像の上に文字を重ねることができます。

通常の「画像下の文章」編集では、画像の下に文字を配置します。[本文]部位同様、文字に対して様々な装飾を施すことが出来ます。

全⑧

LayerBOX
layerBOX機能を使用すると画像の上に文字を重ねることができます。

通常の「画像下の文章」編集では、画像の下に文字を配置します。[本文]部位同様、文字に対して様々な装飾を施すことが出来ます。

全⑨

画像部位用CP文法②

■ CP文法[◎○◇■●①~⑨] を挿入することで画像に様々な縁装飾を実現

手間のかかる複雑なCSSによる枠装飾を簡単なCP文法で実現し、文字装飾も併用することができます。

■ 画像の縁を装飾する[CP文法]

「画像の説明」の入力欄の先導にCP記号(特殊記号)を一文字入れる事で
画像周りに縁を付けたり、画像に角丸の処理(トリミング)を自動で行うことが出来ます。

▶ 画像の説明

*画像に対する説明文です。ALTに相当(CP記号|○|○|△|■|☆|※|-|全
⑨ 画像の説明文を入力する
○ キャプションなし(初期設定) ○ キャプションあり (画像の下にも文章が表示され)

◎ ○ ◇ ■ ● ① ~ ⑨ 使用される記号はすべて全角記号です。

▶ 画像の説明

*画像に対する説明文です。ALTに相当(CP記号|○|○|△|■|☆|※|-|全
全④・③ 画像の説明文を入力する
○ キャプションなし(初期設定) ○ キャ

「画像の縁装飾」と「画像の枠装飾」を入力すると
「画像の枠装飾」が上書きされて画像の縁効果が消えますので注意して下さい。

画像の縁装飾 + 画像の枠装飾 = 画像の枠装飾のみ

LayerBOX
LayerBOX機能を使用すると画像の上に文字を重ねることができます。
画像キャプションをONにする。

LayerBOX
LayerBOX機能を使用すると画像の上に文字を重ねることができます。
画像キャプションをONにする。

■ CP文法との画像の縁装飾一覧



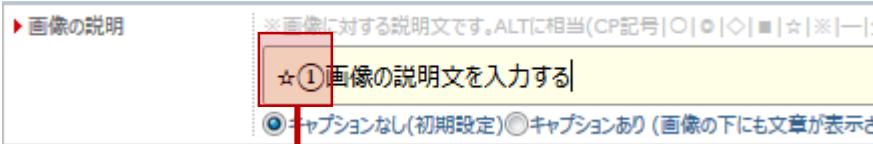
画像部位用CP文法③

■ CP文法[☆①・☆②] を挿入することで画像と文章を横並びレイアウトを実現

手間のかかる複雑なCSSによる枠装飾を簡単なCP文法で実現し、文字装飾も併用することが出来ます。

■ [画像]部位内の画像と文章を横に並べる[CP文法]

本来[画像]部位内は、画像の下に文章が並び、一枚のカードのように機能します。一枚のカードにすることで部位の移動が楽になる便利な部位ですが、さらに便利な機能として、縦並びを横並びのカードとして機能させるのがこのCP文法です。



☆① 画像が左/文章が右

☆② 文章が左/画像が右



☆①を指定

画像のサイズを1/2に縮小



横を全幅(100%)として、画像のサイズ指定により、画像と文章の比率が変わります。
※画像の上にある文字(layerBOX)は自動で画像と同じサイズになります。



初期の画像サイズ

画像サイズ01～02



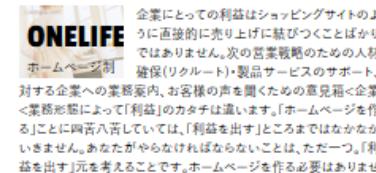
画像サイズ03



画像サイズ04



画像サイズ05



画像サイズ06

画像サイズ06のみ、全幅ではなく、
1/2の50%で表示されます。



☆②を指定の場合

画像部位用CP文法④

■ CP文法[★①・★②・★③]を挿入することで画像と文章の特殊レイアウトを実現

手間のかかる複雑なCSSによる枠装飾を簡単なCP文法で実現し、文字装飾も併用することが出来ます。

■ [画像]部位内の画像と文章をずらして重ねる[CP文法]

layerBOX(画像の上に配置する文字)を画像とずらして重ねることでデザイン性のあるレイアウトを実現することが出来ます。

▶ 画像の説明

*画像に対する説明文です。ALTに相当(CP記号|○|○|◇|■|☆|※|ー|全)

★① 画像の説明文を入力する

(○)キャプションなし(初期設定) (○)キャプションあり(画像の下にも文章が表示される)

- ★①** 画像が**左**のずらし重ね
- ★②** 画像が**右**のずらし重ね
- ★③** 画像が**中央**のずらし重ね



企業にとっての利益はショッピングサイトのように直接的に売り上げに結びつくことばかりではありません。次に「ホームページ制作・サイト構築・CMS運用を岐阜・愛知(名古屋地区)を中心に営業活動展開中!!」と並んで、「layerBOX下の文章はそのまま」という状態になります。あなたがやらなければならぬことは、ただ一つ。「利益を出す」元を考えることです。ホームページを作る必要はありません。

layerBOX60%と画像サイズ60%がずれて重なるレイアウト一覧



企業にとっての利益はショッピングサイトのように直接的に売り上げに結びつくことばかりではありません。次に「ホームページ制作・サイト構築・CMS運用を岐阜・愛知(名古屋地区)を中心に営業活動展開中!!」と並んで、「layerBOX60%と画像サイズ60%がずれて重なるレイアウト一覧」という状態になります。



企業にとっての利益はショッピングサイトのように直接的に売り上げに結びつくことばかりではありません。

初期の画像サイズ・01



企業にとっての利益はショッピングサイトのように直接的に売り上げに結びつくことばかりではありません。



企業にとっての利益はショッピングサイトのように直接的に売り上げに結びつくことばかりではありません。



企業にとっての利益はショッピングサイトのように直接的に売り上げに結びつくことばかりではありません。

画像サイズ02



企業にとっての利益はショッピングサイトのように直接的に売り上げに結びつくことばかりではありません。

画像サイズ06

画像サイズ06のみ、全幅で
画像が1/6で表示されます。

★②を指定の場合(画像右)

★③を指定の場合(画像中央)

layerBOXは全幅100%として重なります。



企業にとっての利益はショッピングサイトのように直接的に売り上げに結びつくことばかりではありません。次に「ホームページ制作・サイト構築・CMS運用を岐阜・愛知(名古屋地区)を中心に営業活動展開中!!」と並んで、「layerBOX60%と画像サイズ60%がずれて重なるレイアウト一覧」という状態になります。



企業にとっての利益はショッピングサイトのように直接的に売り上げに結びつくことばかりではありません。



企業にとっての利益はショッピングサイトのように直接的に売り上げに結びつくことばかりではありません。



企業にとっての利益はショッピングサイトのように直接的に売り上げに結びつくことばかりではありません。

画像部位用CP文法⑤

■ CP文法を3つ組み合わせて[画像]部位に複雑なデザインを施す。

手間のかかる複雑なCSSによる枠装飾を簡単なCP文法で実現し、文字装飾も併用することができます。

■ 枠装飾10種(全①~⑨)をベースにして、色と配置をCP文法で組み合わせる。



[画像]部位の枠	[画像]部位の枠用の色	layerBOX配置
無し	無し	無し
全①	@ R	☆①
全②	@ Y	☆②
全③	@ G	★①
全④	のどれか +	★②
全⑤	@ D	★③
全⑥	@ B	
全⑦	@ N	
全⑧	@ P	
全⑨	@ M	
	@ K	

ベース
を決定



画像部位用CP文法⑥

■ CP文法を2つ組み合わせて[画像]部位に複雑なデザインを施す。

手間のかかる複雑なCSSによる枠装飾を簡単なCP文法で実現し、文字装飾も併用することができます。

■ 画像枠 (◎○◇■●①~⑨)をベースにして、配置をCP文法で組み合わせる。

▶ 画像の説明

※画像に対する説明文です。ALTに相当(CP記号|○|○|◇|■|☆|※|ー|)

⑧★① contents player導入ガイド

○キ...ンなし(初期設定)⑨キャプションあり (画像の下にも文章が表示さ)

画像の縁	layerBOX配置
○ ◇ ■ ● ● ① ● ② ● ③ ● ④ ● ⑤ ● ⑥ ● ⑦ ● ⑧ ● ⑨	無し ☆ ① ☆ ② ★ ① ★ ② ★ ③

[注意]
色指定のCP文法を挿入しても
画像枠には、元々色情報が無い
ため反映されません。

ベース
を決定

のどれか +

CP文法が何もない初期配置

CP文法[●⑧]で画像の縁決定

CP文法[★①]で配置を指定

→ [画像]部位の隙間に矢印を表示

※画像に対する説明文です。ALTに相当(CP記号|○|○|◇|■|)

→ contents player導入ガイド

○キ...ンなし(初期設定)⑨キャプションあり (画像の下にも文)

ONELIFE

ホームページ制作・サイト構築・CMS運用を岐阜、愛知(名古屋地区)を中心に営業活動展開中!!

contents player導入ガイド

企業にとっての利益はショッピングサイトのように直接的に売り上げに結びつくことばかりではありません。次の営業戦略のための人材確保(リクルート)・製品サービスのサポート、対する企業への業務案内、お客様の声を聞くための意見箱<企業<業務形態によって「利益」のカタチは違います。「ホームページを作る」ところまではなかなかいきません。あなたがやらなければならぬことは、ただ一つ、「利益を出す」元を考えることです。ホームページを作る必要はありません。

ONELIFE

ホームページ制作・サイト構築・CMS運用を岐阜、愛知(名古屋地区)を中心に営業活動展開中!!

contents player導入ガイド

企業にとっての利益はショッピングサイトのように直接的に売り上げに結びつくことばかりではありません。次の営業戦略のための人材確保(リクルート)・製品サービスのサポート、対する企業への業務案内、お客様の声を聞くための意見箱<企業<業務形態によって「利益」のカタチは違います。「ホームページを作る」ところまではなかなかいきません。あなたがやらなければならぬことは、ただ一つ、「利益を出す」元を考えることです。ホームページを作る必要はありません。

初期
設定



contents player導入ガイド

企業にとっての利益はショッピングサイトのように直接的に売り上げに結びつくことばかりではありません。次の営業戦略のための人材確保(リクルート)・製品サービスのサポート、対する企業への業務案内、お客様の声を聞くための意見箱<企業<業務形態によって「利益」のカタチは違います。「ホームページを作る」ところまではなかなかいきません。あなたがやらなければならぬことは、ただ一つ、「利益を出す」元を考えることです。ホームページを作る必要はありません。

contents player導入ガイド

企業にとっての利益はショッピングサイトのように直接的に売り上げに結びつくことばかりではありません。次の営業戦略のための人材確保(リクルート)・製品サービスのサポート、対する企業への業務案内、お客様の声を聞くための意見箱<企業<業務形態によって「利益」のカタチは違います。「ホームページを作る」ところまではなかなかいきません。あなたがやらなければならぬことは、ただ一つ、「利益を出す」元を考えることです。ホームページを作る必要はありません。

【●⑧】+【★①】の二種類を組み合わせることで、
複雑なレイアウトデザインができます。
※CP文法の順番は、自由です。

タグ部位用ツールバー①

■(上級者向け)WYSIWYG機能の全てを網羅した高機能エディタ
[タグ]部位に表示されるツールは、あらゆる表現を可能にします。高機能なだけに取り扱いには注意が必要です。



[タグ]部位用エディタを使うための準備(各領域の確保)

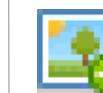
[タグ]部位は本来、HTMLのコードを直接入力するための領域です。そのためツールによる装飾機能を利用するためには、領域を確保しその間に内容を入れる必要があります。

見出・画像・本文などの入れる場合、各アイコンを使用すると

エディタ内に領域の種類の応じて色分けされたBOXが表示され構造がわかりやすくなります。



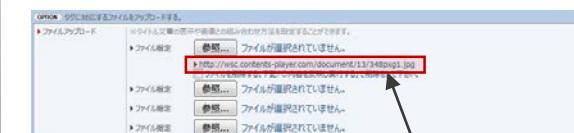
←[領域の挿入]で現れるBOX野中には、見出や本文のBOXを入れて複雑なレイアウトが可能になります。



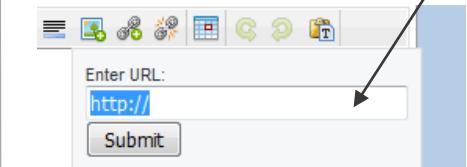
画像の挿入

領域が指定された場所に画像を挿入

[タグ]部位のオプションである「タグに対応するファイルをアップロードする」を利用して挿入したい画像をアップロードします。(最大4枚まで)



画像URLはアップロードした際に表示される、このURLをコピーして使用します。



貼り付け例

タグ部位用ツールバー②

■(上級者向け)WYSIWYG機能の全てを網羅した高機能エディタ

[タグ]部位に表示されるツールは、あらゆる表現を可能にします。高機能なだけに取り扱いには注意が必要です。



汎用領域

HTMLコードによるclass等を挿入するための領域確保の機能ため、理解できる方のみ使用して下さい。



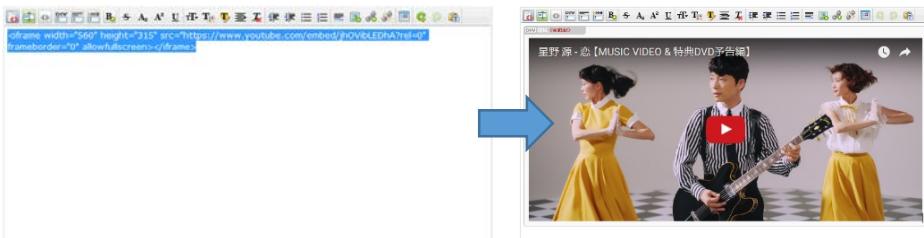
領域の挿入

コンテンツの全幅に対して、**1/1・1/2・1/3・1/4・1/5・1/6**の横幅を持つ領域を確保します。
※[画像]部位の機能オプションである「画像装飾01～画像装飾06」と同等の機能です。



youtube及びgooglemapのスマート対応タグの設置方法

- Youtubeやgooglemapの<iframe>*** </iframe>を挿入後(必ず先に挿入)
- アイコンを利用し「youtube領域の挿入」「googlemap領域の挿入」を行って下さい。



領域内に動画やマップが表示されれば正常です。



[本文]部位の挿入

[本文]部位の機能オプションである「本文装飾01～本文装飾06」と同等の機能です。



[見出]部位の挿入

[見出]部位の機能オプションである「見出装飾01～見出装飾06」と同等の機能です。



<style>の入力補助

ページ全体の背景色や各BOXの背景色を自由に設定するためのCSS補助機能です。
※初期値は#eeeeeeで薄いグレーとなっています。

ページ全体の背景色

#subbox全体の背景色

#box1全体の背景色

#box2全体の背景色

#box3全体の背景色

#box4全体の背景色

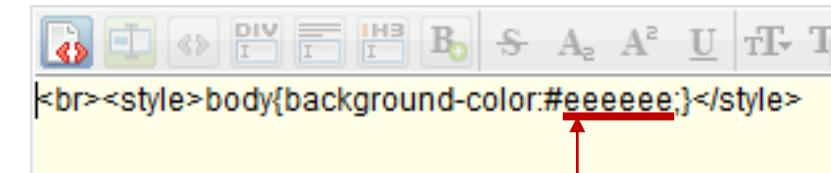
#subbox枠内の背景色

#box1枠内の背景色

#box2枠内の背景色

#box3枠内の背景色

#box4枠内の背景色



HTMLソースコード画面で色指定部分を自由に変更して下さい。

※エディタ画面には表示されません。

※カラーコードは#を先頭にして6桁の英数字が並びます。

タグ部位用ツールバー③

■(上級者向け)WYSIWYG機能の全てを網羅した高機能エディタ

[タグ]部位に表示されるツールは、あらゆる表現を可能にします。高機能なだけに取り扱いには注意が必要です。

スライダー領域の挿入

1 [スライダー領域の挿入]を行うと4つの領域が表示されます。この領域内に画像を入れます。

2 画像を挿入する位置にカーソル

3 [タグ]部位のオプションである「タグに対応するファイルをアップロードする」を利用し挿入したい画像をアップロードします。(最大4枚まで)

4 ファイルが選択されていません。
http://wsc.contents-player.com/document/16/708pxg.jpg

5 画像を挿入されます

| Slider ID | スライダーの動き |
|-----------|---------------|
| slider1 | 左から右へスライド(自動) |
| slider2 | 下から上へスライド(自動) |
| slider3 | 左から右へスライド(手動) |

表の設置 簡易的な表を設置する機能

横: 7 縦: 3 決定

アップロードされた画像のURLをコピーし、「画像挿入」アイコンのEnter URLへ貼り付けます。

Enter URL:
http://wsc.contents-player.com/doc

Submit

横列×縦列の数字入力画面

本来は、[表組]部位を使用して表を作成しますが、画像下の文章にワンポイントで表を差し込むための機能です。

表の装飾は、「表組」部位のように選べません。初期の灰色線の表となります。

[DIV]領域を使用する上で注意

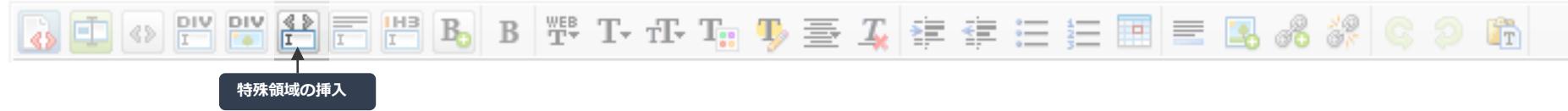
DIV [汎用]領域 <DIV>



画像等を挿入する前に、領域内に改行や文字等がひとつでもあることを確認して下さい。無いとDIVの領域が確保されない場合があります。DIVの領域が消えないよう、文字を入れ、挿入が終わったら、消して下さい。挿入した画像が文字の変わりとして認識され、DIVの領域は消えません。

タグ部位用ツールバー④

■(上級者向け)WYSIWYG機能の全てを網羅した高機能エディタ
[タグ]部位に表示されるツールは、あらゆる表現を可能にします。高機能なだけに取り扱いには注意が必要です。



特殊領域の挿入 アコーディオン機能の挿入

特殊領域の挿入

質問内容のこの欄に記入します。

質問内容に対して回答を記入します。サイト上で見ると、この欄は初期設定では表示されません。上記の「質問内容」をクリックすることで表示されるようになります。

← Enterを押すことで、質問欄が表示され、入力しEnterを押すと、回答欄が表示されます。

+ 質問内容のこの欄に記入します。
↓ クリックすると隠れた文字が表示されます。

□ 質問内容のこの欄に記入します。
質問内容に対して回答を記入します。サイト上で見ると、この欄は初期設定では表示されません。上記の「質問内容」をクリックすることで表示されるようになります。

特殊領域の挿入 カスタムフィールドの挿入

特殊領域の挿入

| | |
|------|--------------------|
| 項目名1 | 項目1に対する詳細な内容を記入する |
| 項目名2 | 項目名2に対する詳細な内容を記入する |

Enterを押すことで、項目欄が表示され、入力しEnterを押すと、内容欄が表示されます。

項目名と内容を頭揃えて揃えるフィールドを生成します。

| | |
|------|--------------------|
| 項目名1 | 項目1に対する詳細な内容を記入する |
| 項目名2 | 項目名2に対する詳細な内容を記入する |

[上級機能] タグによる特殊機能

●指定されたタグを利用する事で、特殊なコンテンツ表現を可能にします。

■コンテンツスライダー機能 (画像スライダー機能を応用したコンテンツ版機能)

通常の部位編集で作られた複数の部位をひとかたまりにして、かたまりごとに横スライドさせることができます。

| Slider ID | スライダーの動き |
|-----------|---------------|
| slider1 | 左から右へスライド(自動) |
| slider2 | 下から上へスライド(自動) |
| slider3 | 左から右へスライド(手動) |

スライダーの
挙動について
※画像スライダーと同じ

手順
1

コンテンツスライダーを使用する宣言分
※スライドさせるコンテンツ全体を

で始め、必ず

で終了宣言します。

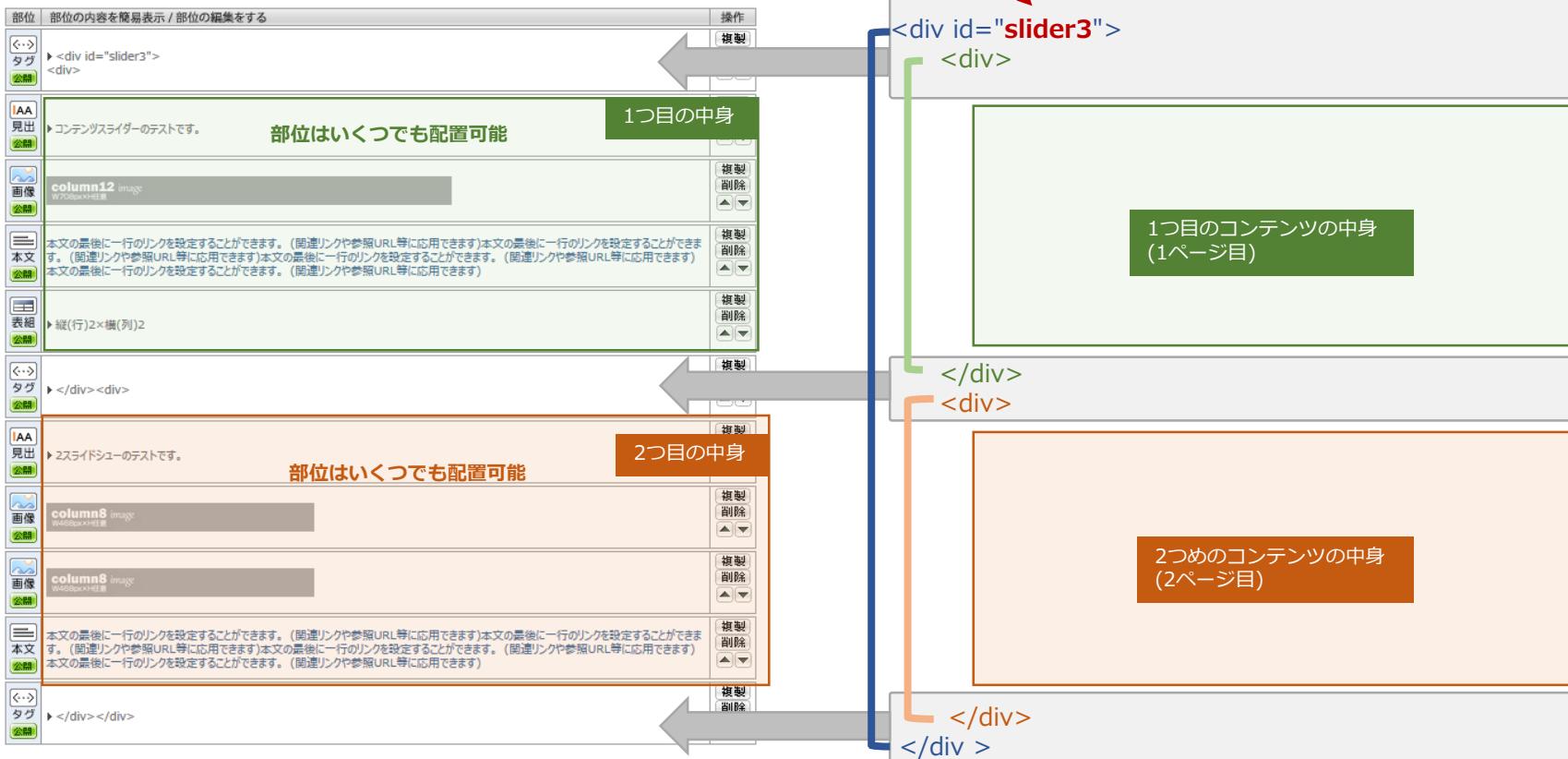
手順
2

スライドさせる一つの固まりを作る。
<div></div>で始めて</div>で終了宣言してください。
<div></div>で囲まれた部位の固まり(スライドさせる
ひとかたまり、ページ)は、複数作成することができます。

実際の部位配列をサンプルとして、タグの意味を理解して下さい。

注意

複数のページをスライドさせる場合
調整していくと自動で固定されてしまう。
無駄な余白を出さないようにする
部品の数やコンテンツ量がボリュームが多いです。



[新機能]テンプレートを編集する機能

●あらゆるデバイスに対応したコンテンツプレイヤー専用パートを入れ替えます。

■サイトの文字や背景、表や囲み等のCSSを自由に変更

様々な大きさや比率に対応しなければならないスマホには、画像のみで作られたデザインは不向きです。
コンテンツプレイヤーでは、これらのパートを全て可変可能なCSSであらかじめ準備しました。

ROOT及びグループごとに
変更可能です。



WEBデザイン用テンプレート

00:デザイン用テンプレート

初期基本サイトパート群

汎用 0000 base design

header footer

拡張用フッターフル幅指定パート

上級 0001 footer parts

header footer

00:デザイン用テンプレート

WEBデザイン用 パーツセット

01:サイト全体の背景用パート
02:グローバルメニュー用パート
03:ローカルメニュー用パート
04:[見出]部位用パート
05:[本文]部位用パート
06:[表組]部位用パート
07:レイアウト用パート(調整中)

**手順 1 初期値に戻す場合は、
00:デザイン用テンプレート(F01)
で最新版に適応して下さい。**

■適応済みCSSを確認する

「サイトテンプレートを編集する」で変更されたCSSを実際のサイトで確認することが出来ますので、ページを編集する際にご利用下さい。

<http://契約ドメイン名/グループ名/cp.html>

グループが無い場合(ROOTのみ使用)
<http://契約ドメイン名/cp.html>
となります。

※このページは検索されないようになっています。



**手順 2 00:デザイン用テンプレートを適応後細部の各パートを
適応して下さい。
01~07デザイン用テンプレート(F01)**

①装飾パートの形状を確認

②装飾パートの色をチェック

**③[デザインを反映する]を押して、
実際のサイトをF5で再読み込みをして確認。**